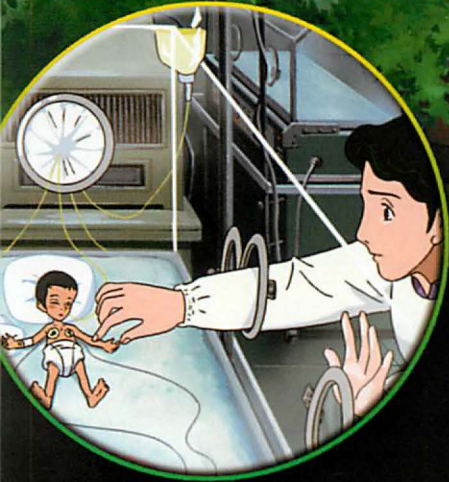
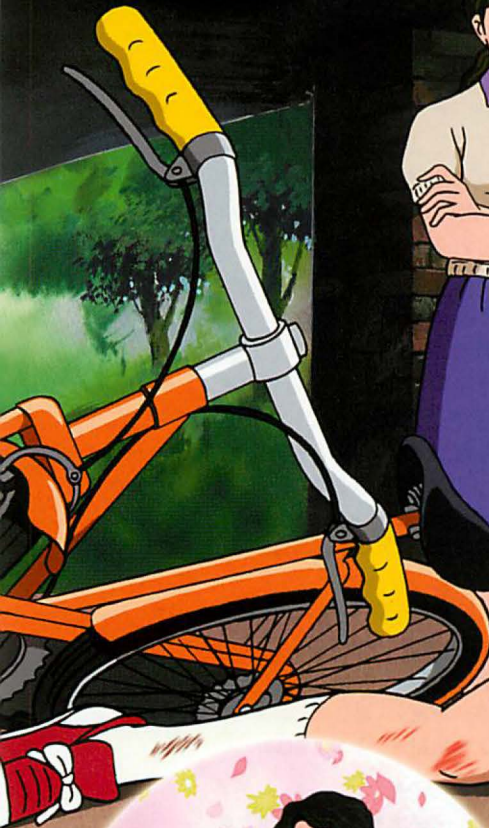


生きてます、 15歳。



上映時間	22分
16ミリ版	220,000円
ビデオ版	66,000円
価格は税別	(C#0105)



バリアフリー版もあります。
(副音声・字幕スーパー付)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

井上美由紀さんは、未熟児網膜症のため幼くして失明しました。その美由紀さんがお母さんとの心の交流や自分自身の成長を描いた著書『生きてます、15歳。—500gで生まれた全盲の女の子—』はベストセラーとなり、テレビ番組に取り上げられるなど評判を呼びました。

美由紀さんのお母さんは、美由紀さんの自立を思い厳しく育てます。美由紀さんは、お母さんに反発しながらも母との深い愛情を育みます。甘やかす愛情ではなく、真正面から子どもと向き合う姿は、親子のあり方を問い直し、強烈に心を揺さぶります。

また、この作品のもう一つのテーマは、主人公の美由紀さんに共感し生活を疑似体験することで、障害者の立場になって障害者問題を考えることです。成長していく美由紀さんの心を丹念に描き、視聴者の意識に訴える作品に仕上げました。

なお、本作品には、主人公の美由紀役で、美由紀さん本人が声の出演をしており、その印象的な声は作品を瑞々しいものにしていきます。アニメーションの声の出演を視覚障害者が行うことは、日本映画界でも画期的な試みといえます。

内 容

美由紀は僅か500グラムという未熟児で生まれた。母・美智代にとって美由紀はたった一人の大事な家族。「あなたまでいなくなったら、お母さん、一人ぼっちに」そう言って美由紀の手に触れると、その小さな手は母の指をしっかりと握り返すのだった。「生きたい、生きたいって言ってるのね。あんたが生まれてきて良かったと言えるように、母さん、頑張るからね」美由紀はいくつもの病気からは回復したが、未熟児網膜症のため視力を失ってしまう。

数年後、美由紀はとても元気な女の子に育ち、幼稚園に通っていた。「美由紀は頑張り屋さんたい」と美智代が言えば、「頑張る。何でも頑張ってる」と美由紀は答えた。

目の見えない美由紀に、美智代は色んなものを持って教えていった。タンポポ、バラ…。バラを触った美由紀は、トゲで少しケガをしてしまう。「痛い思いましたが、バラのことちゃんと覚えたね。怖がらずに、何でもやってみよう。少しずつ色んな楽しいこと、綺麗なこと、お母さんと見つけていこう」

美智代は、美由紀が一人で色んなことができるように見守っていた。美由紀が階段から足を踏み外したり、料理の手伝いをして手をケガしてしまうこともあった。それでも、美智代は、決して手を貸そうとはしなかった。また、美智代は割り算の分からない美由紀に、キャンディーを使って教え込んだ。

ある日、美由紀が自転車に乗りたいと言いだした。美智代は、子供用自転車に美由紀を跨がらせる。何度も転倒する美由紀に、「今、乗らんと一生乗れんよ」と言い放った。何回も転倒して諦めかけていたとき、美由紀はようやく自転車を走らせることができた。「や

ろうと思ったらできるってこと分かったやろ」という母の言葉に美由紀は頷くのだった。

その頃、美智代は娘の将来のために少しでもお金を貯めたいと思い、夜もパートにでることになった。美由紀には母のいない夜が辛かった。すねた美由紀は、母の作った夕飯を捨ててしまう。それを見た美智代と、美由紀は大げんか。そんなとき、美智代は風邪のため熱を出して倒れてしまう。必死に看病する美由紀だったが、体温計で測った体温を見ることができない。「わたし、役たたくたい。ごめんね」と泣き出した。「美由紀が看病してくれるから、お母さん、安心していいよ。美由紀がいてくれて、本当によかった」二人はしっかりと手を握りあった。

美由紀は15歳に成長した。そして、弁論大会に出場すると壇上で自らの生い立ちから語りだし、最後に言った。「私は目が見えないので、たくさんのことはできないかもしれませんが、でも、努力することはできます。今度は、母に喜びの涙を流してもらいたい。それは、私が夢を実現できたときにかなうでしょう」

原 作・・・井上美由紀（ポプラ社刊）

『生きてます、15歳。—500gで生まれた全盲の女の子—』

プロデューサー・・・中鉢 裕幸 監督・絵コンテ・・・辻 伸一

桜井 宏 美術・背景・・・田中 資幸

脚 本・・・喜多 香織 音 楽・・・笠松 美樹

声の出演・・・井上美由紀、一条みゆ希ほか

企画協力・・・株式会社ポプラ社

アニメーション制作・・・株式会社グループ・タック

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2002年作品

関東営業所 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
札幌出張所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060-0061 ☎011-231-1439
関西営業所 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101